

バローHD

人材開発センター新設

18億円投資 可児市に研修施設

バローホールディングス(HD)は、社員育成の拠点となる人材開発センターを可児市大森の自社所有地に新設する。社員研修やグループ企業の社員同士が交流する場として活用する。今月着工し、2019年3月に完成予定。投資額は18億8千万円。

(河合修)

センターは、鉄骨2階建て延べ床面積約5900平方メートル。100人収容可能な宿泊施設や大型研修室、食堂を備える。施設の一角には社の歩みをまとめた「歴史

展示室」を設け、創業以来の挑戦の歴史を若手社員に伝える。

これまで社員研修は本社や大型店舗などで開いていたが、50人程度の研修規模

にとどまっていた。100人規模の大規模な研修施設の構想は以前から検討しており、創立60周年記念として建設を決めた。

建設地は、子会社のバロ

ーの物流センターが隣接。同HDは災害時に支援物資などを届ける協定を自治体や県警と結んでおり、人材開発センター近くには災害時用のヘリポートも整備する。

同HDのグループには、スーパーマーケットやホームセンターに加え、フィットネスクラブなどの運営会社がある。完成後は、来春入社予定の新入社員の研修を行うほか、グループ企業の社員が集まる会議などを定期的に開き、交流の場としても活用する。将来的には、会議室を地域に開放することも検討している。